

今月の特集

安心・安全の住まいをつくる

家づくり  
「もしも」に備える  
プランニング

これから家を作ろうとする方の  
懸案事項のひとつが様々な災害への備えです。  
今回はプランニングの視点から、  
「もしも」の時に心強いポイントをご紹介します。

避難経路を考えた動線と  
食品や日用品を備える収納を

災害から身を守るにはそれぞれの地域特性に合わせた備えと同時に、住宅においては基礎や構造をはじめ施工精度や住宅性能が万全であること、そしてプランニング上の配慮が肝心。万一の際に住宅が事故の原因とならないように、慌てず落ち着いて対処できるようポイントを押さえての検討が重要になります。

まず考えておきたいのは火災時の避難。屋内の動線は階段および各部屋の出入口から玄関まで見通しが良いのが理想的です。集合住宅や公共施設などでは避難経路を二方向に設けることが定められていますが、戸建住

宅も玄関以外の避難経路は大切。住宅密集地では敷地が塀で遮られる場合も多いため、庭や窓など各所から避難するケースも想定しておきましょう。

また地震や風水害などによるインフラの寸断を考え、食料品や日用品の備蓄スペースを備えるプランにも注目が集まっています。キッチンの近くなど普段から使いやすい場所に空間が確保できれば利便性も万全。消費しながら蓄える「ローリングストック」の考え方も参考になります。普段の倍の量を購入して古いものから消費し、半分になったらもう半分を購入することで常に在庫を蓄えておくという方法です。

家具の転倒によるケガ、物の散乱などを未然に防ぐには新築時の収納計画が有効。つくりつけの収納スペース

は通路を塞いだり避難を妨げることなく、屋内動線と一緒に検討できます。

揺れにも火にも強い「FPの家」  
タフな住宅性能で末長く安心を

燃えにくいことや倒れにくいことなど、住宅性能の差は「もしも」の際に極めて重要。安全に避難するために十分な時間を確保できること、災害に見舞われても引き続き居住できることなど、家づくりの根幹に関わる部分は手間や予算を惜しまないようにしましょう。

「FPの家」に使われているFPウレタン断熱パネルは住宅用の断熱材としては最高レベルの性能で快適な居住環境を保つことに加え、硬質ウレタンと木材が一体となることで構造においても非常に強い強度をもっています。地震や台風などの災害に対してタフであること、耐火性や耐水性に優れていることと同時に性能の経年劣化が非常に少ないことも特長のひとつ。老後や子どもたちの将来に対して安心の住まいを残すことができます。

工務店の地元に根ざしたノウハウとプランニングに、優れた住宅性能を掛け合わせた家づくりが「FPの家」のメリット。時代を超えて家族が安らげる住まいを実現できる強みは、この点に集約されています。



住まいの  
知恵袋



カーペット

室内の空気を舞うホコリはアレルギーの原因にもなるため、特に小さなお子さんのいる家庭では気を遣いたいもの。意外にもフローリングよりカーペット敷きの方がホコリの飛散が半分以下まで抑制されるというデータがあります。防ダニ処理に優れた製品も多く、定期的に掃除をするなら衛生上の心配なく空気をきれいにする効果があります。防音効果もあるため、子供の遊ぶ物音も気になりません。

インテリア面では色柄を選んでお好みで雰囲気を変えられ、間仕切りなく演出できることが挙げられます。リビングは活発な配色、寝室は落ち着いた素材など、部屋ごとの活動や想定される過ごし方と合わせて選ぶのが空間づくりのコツです。

できた!  
カンタン  
DIY



ミニ本棚

本棚はDIYの代表格。子供の頃に工作で作ったことがある方も多いのではないのでしょうか。机の上で使う小さくシンプルなものであれば、用意するのは底板と横板2枚、背板のみ。接合は木工用ボンドでまずは背板の両端に横板を貼り、乾いてから釘やネジで固定します。背板は1枚でも構いませんが、短冊状の細長い板を複数使うとスマートに見えます。後はお好みでニスやオイルステインなどを塗って出来上がり。横板は安全のためあらかじめ角を取り除いておくことより安心です。

慣れたら今度は大きめの本棚にもチャレンジを。入れる本のサイズから若干大きめの寸法で設計すれば収納にも無駄がありません。

¥ おカネの豆知識

確定拠出年金(401k)



毎月一定額を拠出して運用し、60歳から受給できる個人型年金の一種。企業型と個人型があり、所得控除や運用益非課税など優れた税制優遇で注目が集まっています。

ただし住宅ローンのある場合はその返済を最優先に。また途中解約は原則できないため余剰資金で加入することを心がけましょう。

暮らしのワンポイント

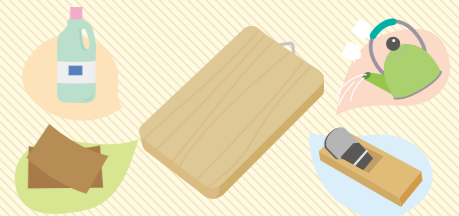
オーニング



窓や出入口の軒先に設置する日除けで、日射しを穏やかに抑制しながら風通しの良い日陰が生まれます。色柄が豊富で、リビングとウッドデッキを組み合わせると魅力的な半屋外空間を演出したり季節に合わせて角度調節も可能です。屋外で遮光し熱を室内に入れないため省エネの面でも効果的です。

教えて! Dr. 住まいる

まな板の黒ずみ



カビや細菌が原因の黒ずみは衛生面でも気になるもの。漂白剤を使う場合は薄めたぬるま湯に30分浸した後水洗いを。濡らした布巾を被せてもOK。木製ならカンナで削ったりヤスリがけも有効です。予防には調理後に放置せず、熱湯をかけて殺菌しておくのが有効です。



おかげさまで、  
「FPの家」誕生30周年